

エコアクション21

環境経営レポート

活動対象期間：2022年12月～2023年11月



発行日：2024年4月16日



わ こう ぐみ
株式会社 和 高 組
～ 他者貢献 [C.to] Contribution to others～

目 次

	ページ
1 組織概要	1
2 実施体制	2
3 環境経営方針	3
4 中期環境経営目標	4
5 環境経営計画と実施状況	5
6 環境経営目標の実績と評価・次年度の取組	6
7 環境関連法規等の遵守状況	7
8 代表者による全体の評価と見直し	8
9 環境取組事例	9～10

1. 組織概要

①事業者名、代表者名など

事業者株式会社 和高組（わこうぐみ）
代表者代表取締役 高橋 貴洋
設立 平成23年12月2日
資本金10,000,000円

②所在地

- ①本社 〒870-0126
大分市大字横尾884番地1
- ②資材置場 〒870-0126
大分市大字横尾1998番地1
- ③第1 駐車場 〒870-0126
大分市大字横尾2003番地1
- ④第2 駐車場 〒870-0126
大分市大字横尾2027番地1

③事業内容

建設業（とび・土工工事業・解体工事業・足場設置）

④許可

《建設業許可》

許可番号

※平成31年3月20日取得

《産業廃棄物収集運搬業許可》

許可番号

※自社工事関係分のみ収集運搬

⑤事業規模

活動規模	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022
		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
工事件数	件	489	650	414	500	520	505
売上高	百万円	226	243	274	268	285	244
従業員数	人	30	32	30	30	32	25

⑥対象範囲

全組織、全活動

⑦環境管理責任者名

日下 弘章

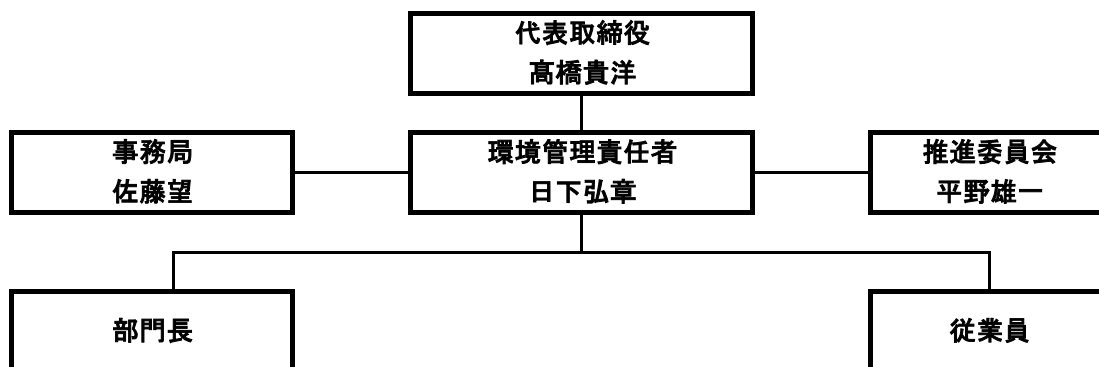
<連絡先>

電話 097-529-7122

FAX 097-529-7188

メール info@wakougumi.com

2. 実施体制



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限	
代表者	・環境経営に関する最高責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境方針の策定、全従業員への周知 ・環境活動レポートの承認	
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・活動計画書・活動レポートの確認 ・環境活動の取組の取組結果を代表者へ報告	
事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成	
エコアクション21推進委員会	・環境目標、環境活動計画の伝達 ・全社の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換	
部門長	・環境活動及び環境活動計画の企画・作成・実施 ・環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・必要な手順書などの作成、管理 ・問題点の発見及び是正、予防処置を実施する	
全従業員	・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する	

3. 環境経営方針

★経営理念

- ① 他者貢献
- ② 秒で決断、秒で動く
- ③ 感謝を伝える心

★クレド ～約束～

- ① 他者に貢献する
- ② 主体的に動く
- ③ 感謝を伝える

★基本理念

㈱和高組は地球環境改善を重要な課題と位置付け、
工事における建設事業、解体工事事業部の
各種燃料の節約や産業廃棄物の処理の仕方や
発生する資源のリサイクル、エコ活動を通して環境への負荷低減に
積極的に関わり環境経営システムを構築・運用し、
全社員が着実に環境保全活動また二酸化炭素軽減行動等を行い
次世代に継承できる環境の実現に切磋琢磨し日々邁進致します。

★ 行動指針

1.具体的に次の事に取り組めます。

- ① 電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素
排出量を削減する。
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の
3R（減量、再使用、再生利用）を推進する。
- ③ 水資源を大切にするため節水に努める。
- ④ 環境に配慮した塗料の使用に努める。
- ⑤ 原材料及び事務用品のグリーン購入に努める。
- ⑥ 事業所周辺に清掃活動を推進する。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3.この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

これらについて環境目標、環境計画を定め、定期的に見直しを行い、
継続的な改善に努めます。

制定日：平成29年6月1日

改定日：平成30年11月1日

代表取締役 高橋貴洋

4. 中期環境経営目標

各年度の対象期間は、12月～翌年11月

環境方針の番号	選択課題	単位	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(基準)	目標	目標	目標	目標	目標
1	二酸化炭素排出量削減		166,320	164,656	162,993	161,330	161,330	161,330
		kg-CO2						
				△1%	△2%	△3%	△3%	△3%
	一酸化炭素排出量削減 売上高原単位	kg-CO2/ 百万円	684.4	677.5	670.7	663.8	663.8	663.8

売上高原単位 = 排出

1-1	電力消費量削減	kWh	10,659	10,552	10,445	10,339	10,339	10,339
	基準年度比			△1%	△2%	△3%	△3%	△3%
1-2	ガソリン消費量削減	ℓ	13,531	13,395	13,260	13,125	13,125	13,125
	基準年度比			△1%	△2%	△3%	△3%	△3%
1-3	軽油消費量削減	ℓ	49,525	49,029	48,534	48,039	48,039	48,039
	基準年度比			△1%	△2%	△3%	△3%	△3%

環境方針 の番号	選択課題	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		(基準)	目標	目標	目標	目標	目標
2-1	一般廃棄物排出量 削減	－	分別を実施する				
2-2	産業廃棄物のリサイクル率 維持向上	－	99%以上を維持する。				
3	水使用量削減	－	節水活動の推進				
4	化学物質の適正管理	－	シンナーの適正管理				
5	グリーン購入の推進	品数	1種類増加				
6	社会貢献への参加	会社周辺の毎月1回の清掃活動、工事終了都度のごみ拾い活動					

※電気のCo2排出係数は、2017年度調整排出係数0.463kg-CO2/kWhを使用した。

5. 環境経営計画と実施状況

○ : 100%よく出来た △ : 中間 × : 80%以下

番号		目標課題	具体的な行動(活動)	実施状況	担当者
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力使用量削減	1. 冷暖房設定温度の厳守。夏26℃冬22℃を基本とする。	○	佐藤望
			2. OA機器の退社時電源OFFする。	△	
			3. 空調機フィルターの清掃する。(3ヶ月に1回)	○	
			4. 不必要箇所の照明を消す。	○	
	1-2	ガソリン使用量削減	1. エコドライブの推進。	○	日下弘章
			①急加速急停車をしない	○	
			②タイヤの空気圧チェック(1ヶ月に1回)	○	
			③アイドリングストップする。	○	
			④エアコンの使用頻度を控える。	△	
	1-3	軽油使用量削減	1. エコドライブの推進。	○	平野雄一
			①急加速急停車をしない	○	
			②タイヤの空気圧チェック(1ヶ月に1回)	○	
			③アイドリングストップする。	○	
			④エアコンの使用頻度を控える。	△	
	2-1	一般廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別を徹底する。	○	日下弘章
			2. リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	○	
			3. コピー用紙の裏側使用を推進する。	○	
	2-2	産業廃棄物のリサイクル率維持向上	1. 廃棄物分別を徹底する。	○	平野雄一
			2. リサイクル化へのルート選択	○	
	3	水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識を喚起する。	○	河野友佑
			2. 蛇口の閉め忘れの確認。(家庭などの使用場所)	○	
			3. 無駄な水の使用を控える。(家庭などの使用場所)	○	
	4	化学物質の適正管理	1. シンナー類の保管場所を決める。(注意事項の掲示)	○	平野雄一
			2. 吸込み中毒などに気を付けて使用する。	○	
	5	グリーン購入の推進	1. エコマーク、グリーンマーク商品の購入推進	○	佐藤望
			2. 再生紙の購入推進	○	
	6	社会貢献への参加	1. 工事現場1回以上のゴミ拾い活動(工事終了都度)	○	日下弘章
			2. 事務所周辺の清掃活動(月1回)	○	

6. 環境経営目標の実績と評価・次年度の取組

環境方針番号	選択課題	2019(基準) 実績(A)	2022 目標△3%	2022 実績	目標達成率
1	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	166,320	161,330	210,225	92%
	二酸化炭素排出量排出量売上高原単位 (kg-CO2/百万円)	684.4	663.8	862	92%

環境方針番号	選択課題	2019 実績	2022 目標△2%	2022 実績	目標 達成率
1-1	電気使用量 (kWh)	10,659	10,339	10,918	94%
評価	電気使用量による二酸化炭素排出量においては昨年度比べ、目標を達成する事が出来なかった。				
原因	LED電球の利用や無人時の電気の節約、クーラーの時間節約や風量の減少努力にしたが、工事の増加により電力の増大が起きた為。				
次年度の対策	更に向上させる為にLEDに変更してない電球を変更していくと同時に消灯など意識の向上に勤めていく。				

環境方針番号	選択課題	2019 実績	2022 目標△2%	2022 実績	目標 達成率
1-2	ガソリン使用量 (ℓ)	13,531	13,125	12,940	101.4%
評価	ガソリン使用量においては昨年度と比べ目標を達成した				
原因	現場が近かった。社員がエコドライブに励んでいた。				
次年度の対策	更なる燃費率向上の車両・建機の導入・アイドリングストップの推進・エアコンの短縮の稼働時間の要請を行う。				

環境方針番号	選択課題	2019 実績	2022 目標△2%	2022 実績	目標 達成率
1-3	軽油使用量 (ℓ)	49,525	48,039	67,888	70.8%
評価	軽油使用量においては昨年度をかなり下回る結果になってしまった。				
原因	現場が遠方になった要因と現場量の増加による軽油を使用するトラック車両の増加、現場に置ける軽油使用の建設機械のリース台数の増加や購入台数の増加				
次年度の対策	燃費率向上の車両・建機の導入・アイドリングストップの推進・エアコン稼働時間の短縮の要請を行う。				

環境方針番号	選択課題	2019 実績	2022 目標△2%	2022 実績	目標 達成率	
2-1	廃棄物排出量	—	—	分別を実施する	100%	
		【評価と次年度の取組内容】 ・分別ボックス及び分別の表示を設置した 500kg(24袋)排出(2019年12月～2021年11月分) ・全量次年度の評価に繰越すこととなる ・今後はレポートの対象期間に合わせた数量把握を行う				
2-2	産業廃棄物のリサイクル率維持・向上	—	—	99%以上	100%達成	101.0%
3	水使用量	—	—	節水を実施する	目標達成!	100%
		【評価と次年度の取組内容】 節水シールを貼り、皆の節水意識が向上した。次年度も継続して節水意識を向上していく				
4	化学物質の適正管理	—	—	注意事項を提示する	保管場所、保管状況を月1回チェックする	100%
		【評価と次年度の取組内容】 シンナー類の保管場所を決め、SDSを使用して注意事項を掲示した。次年度は保管場所、保管状況をチェックしていく シンナーの使用はなかった(足場材、形式が変化した)				
5	グリーン購入の推進	通年	0品	現状把握	1品追加	100%
		【評価と次年度の取組内容】 環境目標を達成した。社員の間でグリーン購入の意味を理解し、意識の向上も図れた。そのうえで当社のグリーン購入品、コピー用紙とチューブファイルの購入を把握した。次年度も継続して年度末まで把握を継続する。				
6	社会貢献への参加	—	—	会社周辺の清掃活動 工事現場周辺のごみ拾い	会社周辺の清掃活動 工事現場周辺のごみ拾い	100%
		【評価と次年度の取組内容】 環境目標を達成した。次年度も清掃活動を継続していく。				

7 環境関連法規等の遵守状況

関連法規法令違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等はありませんでした。

関係法令	チェック項目		チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
廃棄物処理法(一般廃棄物)						
	分別場所(箱等)の設置	現場確認	日下弘章	R5.12.14	○	
	分別の徹底	現場確認	日下弘章	R5.12.14	○	
	一般廃棄物処理業者委託	契約書の内容確認	日下弘章	R5.12.14	○	
廃棄物処理法(産業廃棄物)						
第12条の5	産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト伝票確認	佐藤望	R5.12.14	○	
第12条の3	廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	佐藤望	R5.12.14	○	
第12条第9項	保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	平野雄一	R5.12.14	○	
建設リサイクル法						
第13条	解体工事現場状況説明書	発注者への事前届出	高橋貴洋	R5.12.14	○	
第5条	廃棄物の抑制及び再生資源の使用	解体届等の提出	高橋貴洋	R5.12.14	○	
第16条	再資源化等の促進	現場確認	日下弘章	R5.12.14	○	
道路交通法						
	第77条	道路占用許可申請書	現場確認	平野雄一	R5.12.14	○
	第77条	道路使用許可申請書	現場確認	平野雄一	R5.12.14	○
騒音規制法規						
第14・17条第1項(第2項)	特定建設作業の届出	解体届等の提出	高橋貴洋	R5.12.14	○	
	防音パネル・防音シートの設置等の騒音防止策の実施	現場確認	—	該当なし	—	
振動規制法						
	特定建設作業の届出	解体届等の提出	高橋貴洋	R5.12.14	○	
	振動対策の実施	現場確認	高橋貴洋	R5.12.14	○	
フロン排出抑制法						
	簡易点検、定期点検の実施及び記録	3ヶ月に一回実施	日下弘章	R5.12.14	○	
	特定施設の事前調査	工事前調査	—	該当なし	—	
	回収証明書(委託)の受け渡し	工事前調査			—	
家電リサイクル法						
	リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	日下弘章	R5.12.14	○	
	家電廃棄時の適正処置	家電回収の適正業者の確認	—	該当なし	—	
(PC)リサイクル法						
	パソコン廃棄時の適正処置	パソコン回収の適正業者の確認	—	該当なし	—	
自動車リサイクル法						
	自動車リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	—	該当なし	—	
	自動車廃棄時の適正処置	自動車回収の適正業者の確認	—	該当なし	—	

(注記)現状は該当はしないが、今後、対象になり得る法規類は上記で特定しておく。

8 代表者による全体の評価と見直し

No.	項目	環境管理責任者のコメント
1	環境関連法規等の遵守状況確認結果	環境関連法の遵守は会社全体でできている。 更には日々更新されていく環境問題に何か新しい創意工夫の余地が無いかをチーム全体で模索していく
2	環境目標の達成状況	環境目標は達成できなかった。 原因として解体工事や現場作業量の増加なので、経過を見ていくと共にアイドリングストップや段取りの効率を良くしていく等の取り組み実施を強化していく
3	環境活動計画の実施状況	活動計画の実施はできている。 しかし、継続のみではなく今後とも、新しい取り組みを考え協力し環境活動計画を更新しながら実施を継続していくこと
4	問題点の是正、予防の状況	今回は、原因が明確であるので正処置の改善は必要である。問題点である軽油や電気の使用量の増加については、省エネ活動や、アイドリングストップ運動を活用していく等の新しい課題や目標を制定したりと予防できる項目を増加していきたい。
5	外部からの苦情の有無及び対応結果	幸い苦情は見受けられなかった。 今後は解体工事に於いて養生シートのみでなく近隣との距離が近い場所では防音シートを使用する等の新しい取り組みを実施していく、工事前に挨拶や現場説明をする事により近隣住民とのトラブルを回避することが出来た。
6	環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	例年通りの対策や経験に基づきトラブル時の迅速な対応においては格段に会社全体の意識レベルの向上に繋がっている。生産性の向上、社員全体の疲労軽減などの負担の減少の為にも短期で対応できる訓練を実施すべきであり今期はよい結果に繋がった結果が出た。
7	その他	まだまだ会社全体やチームとして環境問題への対策や勉強して改善出来る余地が見受けられる。以降も環境問題が地域のゴミの問題や騒音に排ガス、全て地球全体似及ぼしている大きな問題を個人個人が重く受け止めエコアクションを輝かしい物に進化させていきたい。我がエコアクションチームは日々、理念に伴う他者貢献、即断即決即実行、環境への感謝を伝える心、そして出来ないことへの挑戦、日々新しいことにチャレンジして大分県を支える企業へと成長する事を誓って邁進して参ります。

株式会社 和高組 代表取締役 高橋貴洋です。

我社の今年度のエコアクション21の環境経営目標に対する達成状況の結果は、残念ながら未達成という結果でした。

環境問題、そして従業員1人1人に対してエコアクション21への取り組みに対する重要さを浸透させることが出来なかった経営者としての私の能力不足、指導力不足が大きく出てしまった結果と受け止めております。

今後の対策を即実行して参ります。

まず電気量に関しては大幅な削減をする事に成功しております。

更にLEDの活用や不在時の消灯等の基本等を忠実に遂行して新しい取り組みを発見していきます。

軽油やガソリンに関しましては事業拡大が大きく要因となっております。

対策の余地としましては設備の更新、環境対策が標準装備されている新しい建設機械や車両への変更対策が出来れば大幅な減少に成功する事が可能かと思えます。

設備状況や更新可能な設備の改修に現場サイドとの綿密な話し合いを行い、作業能率の減少が無く逆に排出ガスや燃費量の少ない設備への導入を予算と照らし合わせ計画を勤めて参りたい所存です。

現場管理(月報や出勤状況)等につきましては、社内SNSの活用、チャットアプリケーションであるLINEアプリ等のデータの電子化を多様化、テクノロジーの活用を駆使しての新しいサービス利用するパソコン管理、そしてコピー用紙等の紙資源の削減に於けるグリーン購入やボールペンの芯のみの入替等のリサイクル活動等で来期に向け大幅な向上を努めて参りたいと思っております。

更には産業廃棄物に関連する電子マニフェスト及び電子委託契約の導入です。

大きな生産性向上としまして処理業者・運搬業者の5年間保存義務である紙マニフェストの在庫の不要化です。

今後は、より一層会社のテクノロジー化と日々変化する環境問題への柔軟な対策と会社の成長努力。

そして会社全体の進化、従業員の成長や創意工夫と大きな成功体験が行き着くに我々の目指す素晴らしい未来に地球の環境問題、エコアクション21への答えの無い素晴らしいゴールがあると信じております。

そして我々が未来へ向け子どもたちへ残す事が出来る財産であるこの美しい緑や川、海等の環境を我々より美しい時代にして勤めて行くことが我々の義務であると思っております。

来期はよりよい結果を出す事が出来ることを約束させて頂きます。

環境経営方針、目標及び計画、実施体制は継続する。

株式会社 和高組 代表取締役 高橋貴洋 印

9 環境取組事例

SDGsの導入

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境対策や取り組み

夏場の扇風機活用



SDGsへの取組み



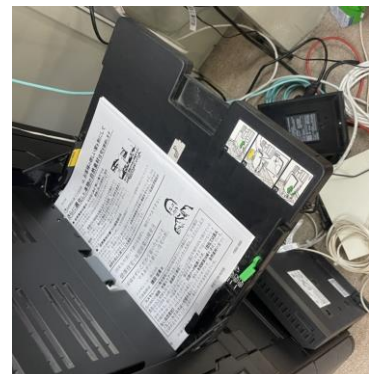
夏場の扇風機活用



空調機の節約(26℃徹底)



印刷の裏紙の活用



5S活動の推進



5S運動

毎週金曜日に洗車を含め、身の回りの整理整頓、会社内の清掃をLINEの全体連絡網で呼びかける。

即行動を促し全社員のエコ活動に対する意識付けを行うようにしていく。

その際に切れているボールペンの芯の差し替えや更には使用できるコピー用紙の裏紙の整理整頓、裏紙を4等分してのメモ用紙へ活用、現場で使用して古ウエス(布)を雨水で洗い干して現場で再利用できる等の行動を行う。